

## 平成26年度 道路建設技術講演会



平成26年度道路建設技術講演会を(一社)日本道路建設業協会中部支部主催、国土交通省中部地方整備局後援、(公社)日本道路協会中部ブロック・(一社)中部地域づくり協会・(一社)日本建設業連合会中部支部、(一社)名古屋建設業協会・(一社)日本建設機械施工協会中部支部・中部緊急防災協会の共催をいただき11月11日に名古屋東文化小劇場で開催しました。会場には会員の皆様、官公庁の方々を中心に約300人がご参加いただきました。

開会にあたり、冒頭のあいさつで川端支部長は、「多岐にわたる技術の研さんを図ることで、舗装技術の向上を目的に開催している。講演ではトレンドテーマを取り上げているので、参考にしてほしい」と述べられました。

次いで、(一社)日本建設機械施工協会中部支部情報化施工デジタルガイドブック作成実行委員会の濱田文子委員が「情報化施工技術～現場作業への適用そして効果～」と題し、建設ICTの現場での導入事例を解説。3次元化によって複雑な設計図書を現場に伝えやすくなったことを報告した一方、データを過信せず要所で精度を確認することが重要と指摘されました。

続いて、国土交通省中部地方整備局の森山誠二企画部長は「公共工事執行の最近の動向について」と題し、「中部の地域づくり」をテーマに講演。中部地方でも道路の点検・修繕を適切に実施するため、各県単位

で道路メンテナンス会議が設置されたことなどを紹介されました。

その後、中部大学総合工学研究所の武田邦彦教授が「建設業における環境エネルギーのこれから」と題した講演を行いました。

参加者は熱心に講演に聞き入り、実りある講演会になりました。